

2021年度奨学金を申請したひとりの男の子

コロナ禍で解雇された母親を懸命に手伝っています。



- 1) セッタウト(アイウン)さん
- 2) スワンナプーム空港で働いていたアイウンの母親
- 3), 4), 5) 母親の農作業を手伝っているアイウンさん

2017年に母親は職探しのためにバンコクに来ましたが、その後、スワンナプーム空港の機内清掃員をするようになりました。飛行機が着陸した後、パイロットや客室乗務員の座席のシート替えや、客室、キッチン、そしてトイレの清掃を担当していました。毎月の給料が7,800バーツでしたが、観光シーズンになると、タイに行き来する飛行機が増加したため、給料の他に残業代もありました。毎月、母親はアイウンの面倒を見る祖母と叔母に仕送りし、家計を支えていました。

2020年にタイ国内でも新型コロナウイルスが蔓延したため、国境が閉鎖されるようになりました。そのため、観光客がタイに来られず、多くの航空会社がサービス停止に至りました。その結果、アイウンの母親を含め、数百人の機内清掃員が解雇されました。仕事を失った母親はマハサラカーム県の実家に戻ってきました。

現在、アイウンの母親は地元で農作業、牛の世話、そして日雇い労働をしており、月の収入は1,500バーツ程度です。アイウンがもうすぐ中学一年生になるので、制服、靴、そして文房具を買うために母親は農作業や日雇い労働で得たお金を貯めようとしてきました。

学校の長期休暇に入ると、アイウンは早起きし、草を刈って牛に与えたり、木や野菜に水をやったりします。母親に草刈りやジャガイモ栽培の日雇い労働が入れば、アイウンは手伝うためについて行きます。毎晩、アイウンは母親の家事、料理、そして皿洗いを手伝っています。

アイウンは「お母さんはもう空港の仕事をしていません。地元に戻って、農作業と牛の世話をしています。昔に比べて、もっと大変で収入もすごく減っています。お母さんが疲れているのを見たくないから、できるだけお母さんを手伝っています。僕は理科が好きで、将来、兵士になりたいと思っています。奨学金がもらえたら、来学期の制服と文房具を買うために一部を使います。残りは学校に行く時の費用として取っておきます」と言っていました。

困難な状況にあっても親の仕事を一生懸命に手伝っているこんな子供たちへ、中学校進学のお機会を贈りませんか？

2021年度の募金活動期間は6月30日までです。皆様の暖かいご支援・ご協力をいただきますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

タイでは新型コロナウイルス感染拡大により各企業に大きな影響を及ぼしているため、多くの労働者が解雇されました。バンコクへの出稼ぎ労働者たちは地元に戻り、不安定な生活を送らなければなりません。コロナウイルスの影響で解雇され、地元に戻らざるを得なくなった人たちの中には2021年の奨学金を申請してきた子どもの親達もいます。今回は、一人で頑張ってきた母親がコロナウイルスの影響で解雇され、一層厳しい貧困を強いられながらも頑張っているセッタウト・シンマーさんのお話を紹介させていただきます。

セッタウト・シンマー(13歳)のニックネームはアイウンです。現在はマハサラカーム県にあるバンフアノン(サンカピッタヤ)学校に通っており、2021年に中学一年に進学するために奨学金を申請しました。

アイウンの家族構成は母親、祖母、そして叔母です。両親はアイウンが小さかった頃に離婚しましたが、父親が再婚して別の家庭を持っているため、母親が一人でずっとアイウンを育ててきました。母親は仕事が農作業と日雇い労働で収入が不安定でしたが、アイウンの中学校と高校への進学費用を貯めようと思い、より多くの収入が得られるバンコクに働きに出ました。

ご支援者の皆様

ご案内しておりました通り、新型コロナの感染拡大が理由でタイの学校の新学期開始が延期され、引き続き2021年度EDF奨学金のご寄付を受け付けておりましたが、6月30日にすべて締め切られます。新学期開始の延期により、奨学金支給前に学校側と行っております学確認書類の対応も通常より遅れておりますが、すべての処理は7月末から2-3ヶ月以内の完了を目指しております。その後、奨学生の子供たちの情報は、皆さまに出来るだけ早くお届け出来るように致します。

ご寄付の状況は5月15日現在、今年度目標の10,110名に対し6,697名分が集まりましたが、今なお3,413名分が不足しております。

タイはコロナ禍で公衆衛生、社会、経済に大変大きな影響があり、中でも元々恵まれない貧しい人々が最も厳しい影響を受けていることは否定できません。このような状況下、解雇による失業や仕事減少のために教育費を負担できず、今回の「ダルニーフォーラム」の1ページに紹介しております男の子の家族のように進学への大きな障害に直面し、休学を余儀なくされる子供たちが増加する事を懸念しております。

末筆でございますが、皆様方には平素からタイの子供たちに対する教育促進の重要性をご理解いただき、子供たちの生活の質の向上を目的としたEDFの教育機会支援活動にご賛同いただいております事に厚く御礼申し上げます。コロナ禍で、皆様方ご自身もご不便な生活を強いられご苦労されておられることは存じますが、ご友人、知人の方々へのご紹介のご協力を戴きますよう心よりお願い申し上げます。

ご支援者様とご家族の皆様が、この度の困難を無事に乗り越えられますよう、お祈り申し上げます。



EDF財団 代表
サンペット・ニンラット

ニュースと活動報告



UMC Electronics (Thailand) Ltd.が募金箱による6年目のご寄付

2021年5月14日: UMC Electronics (Thailand) Ltd.の常務取締役の藤原初氏より(写真中央)社内に設置しているEDFの募金箱への募金総額24,974.50バーツをダルニー奨学金にご寄付いただきました。これはダルニー奨学金制度に対し、6年目のご寄付

となり、これまで累計約11名の子供たちが中学進学ための奨学金支援金を受けることが出来ました。

※尚、団体の受付カウンターやレストラン、お店のレジ等などにEDFの募金箱設置をご希望の方は下記の連絡先までお問い合わせください。

商品券、ギフト券、金券によるご寄付歓迎!!



商品券で新しいスポーツ用品を購入したウドンターニー県の専門学校



あなたのお手許に眠っている商品券や金券はありませんか?

もしも、まだ使い道の決まっていない商品券等がありましたら、それをタイの子どもたちと地方の学校に贈り物としてご活用いただくのはいかがでしょうか。

ご提供いただいた商品券等は、スポーツ用具などを購入するための予算が不足している学校や文房具等緊急支援を必要とする子供たちに送ることに活用させていただきます。

※下記の事務所までの送料はご負担下さい。

※郵送の際、お名前、ご住所、お電話番号など連絡先のご記入をお願い致します。

皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。